

ワン・モア・ステップ

あびこプラス・ワン賛助会通信

2020年7月11日 臨時便

「フラス・ワン」教室再開!!

3月から6月まで4か月休講となりましたが、2教室が6月より、残り2教室が7月に再開となりました。

どこも新しい生徒さんが来てくれるのが不安で、新しいスタートです。

けやきプラザ教室 7月7日火曜

8階に小学生が6人で、スタッフ4人で3中学生はなく、OBの高校生が来てくれました。スタッフは2人で待機でした。ほかにスタッフが10階で6人がやはり待機する“初日”となりました。

湖北駅前教室 6月12日金曜

3月に中学生が卒業し、そのまま新しい生徒は来ていませんが、その兄弟の小学生とほかの生徒さんが来る予定です。スタッフは4人で待っています。机が新しくなり部屋の模様替えが行われました。

湖北台教室 7月3日金曜

休講前の生徒さんが5人来て、一番乗りは中国人のYさん。他は小学生で、見ないうちに大きくなった感じです。終了後は4人のスタッフと一緒にテーブルを除菌スプレーで拭いて終わりました。

天王台教室 6月10日水曜

初日は生徒さん3人、スタッフが7人のスタートでした。7月に入り、弟や妹も来て、新しい方も加わり、生徒6人スタッフ9人で、検温したり、空気入れ替えをして、新しい気持ちで始まっています。

私たちはいま・・・

① 家庭も学校も地域も、子どもの教育の「困難」の大波を前にしています。

コロナで学校が突然休業を宣告され、驚いたのは学校と子どもはもちろん、ご家族も地域も準備の間もなく“三密”の世界へ閉じ込められたかのようなようでした。

そしてウイルスとの戦いが人間の歴史とも言われて繰り返してきたことを改めて知りました。

学校から離れて子どもたちの学習は、家庭に投げ返され不安が広がりました。最新のオンライン学習が遅れているとか、受験がどうなるか等様々な課題も指摘されました。

そして学校では仮の“少人数学級”が実現し、日本の教育の世界的な遅れが明らかになりました。そこで同時に、これまで学校が行ってきた学習指導や学校の在り方も問われ始めました。

② 私たちはこれまで子どもたちの「学習」「学力」「格差」の問題を訴えてきました。それは教育の専門家から繰り返し指摘されており、教室の中で上位下位の差が明らかで、教師にとって手に余る問題になっていると思われるのです。

私たちは、授業が分からないとか、ついていけない、あるいは今の学校のやり方に不適應の子どものサポートをどのようにするかは緊急の課題と考えています。

私は、青年や大人の「学び遅れ」、「学び直し」だけでなく、学習に充分手の届かない教室の子どもたちに意欲と学力の回復を願い、教育のボトムアップを図ることが、子どもの未来と社会の在り方として重要ではないかと考えています。

“分からない子ゼロ”の“学びの街”我孫子への夢を追いかけて、教育委員会へも訴えているところです。(相澤 記)

今年度会費納入早々にありがとうございます。

ご友人にもお勧めいただくと幸いです。

振込先口座（郵貯） 「あびこプラス・ワン賛助会」

加入者番号 00250-2-87357

（手数料のご負担をお願いします）

